

# キャパシティブルディングとは？ アマルティアセン「不平等の再検討」から

---

生物多様性わかものネットワーク

引地 慶多

2019/02/11

どんな想いをもって環境に関する活動をしていますか？

1. 開発援助の文脈で
2. アマルティア・セン
3. 潜在能力アプローチ (Capability Approach)
4. Capacity Building (能力形成)
5. 生物多様性条約
6. 私たちにとってのキャパビル

# 1. 開発援助の文脈で

## キャパシティビルディング

途上国の能力構築。

現在、途上国はWTOのルールや規律を遵守する上で、さまざまな困難に直面しており、(...省略) 外務省経済用語解説より

外務省  
Ministry of Foreign Affairs of Japan

本文へ | English | リンクページ | よくある質問集 | サイトマップ

文字サイズを変更

フリーワード検索 Google カスタム検索 検索

詳細検索 検索方法

外務省案内 | 海外関連情報 | 各国・地域情報 | 外交政策 | ODA | 会議・訪問 | 報道・広報 | キッズ外務省 | 史料・公開情報 | 各種手続き・ご意見

トップページ > 外交政策 > 経済

### 経済用語解説

- 1. 医薬品アクセス**

新ラウンドの途上国関連問題の一つ。  
アフリカ等途上国を中心とした感染症（特にHIV/AIDS、マラリア及び結核）の蔓延を背景に、特許制度により医薬品へのアクセスを阻害しているとの指摘がなされてきている。  
これに対し、先進国は、TRIPS協定をはじめとする知的財産権制度に関する対処だけですべてが解決可能なわけではあり、医薬品開発の促進のためには特許制度は必要である旨主張してきている。  
感染症に対する社会的関心の高さもあり、ドーハ開発会議において「TRIPS協定と公衆の健康に関する宣言」が採られている。途上国関連問題の中でも一つの象徴的な問題となっている。
- 2. S&D**

「Special and Differential treatment（特別のかつ異なる待遇）」を指し、WTO協定の文面上、途上国やLDC等の。  
具体的には、義務の免除や緩和、技術協力を途上国に与える条項などが各協定にS&D条項として存在している。項になるとして、協定改定や新たな解釈を行うべきを主張している。
- 3. オファー**

ODAとは？

個別地域別政策・情報

分野別開発政策

資料

開発協力白書・ODA白書等報告書

個別評価報告書

パンフレット

評価対象地域・国別検索（全文）

東アジア地域	サブサハラ・アフリカ地域
<ul style="list-style-type: none"><li>インドネシア</li><li>韓国</li><li>カンボジア</li><li>タイ</li><li>中国</li><li>（台湾）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>サブサハラ・アフリカ地域</li><li>ウガンダ</li><li>エチオピア</li><li>エリトリア</li><li>ガーナ</li><li>カーボヴェルデ</li><li>ガボン</li><li>カメルーン</li><li>ガンビア</li><li>ギニア</li><li>ケニア</li><li>コートジボワール</li></ul>

貧困の定義には様々な議論があるが、経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が2001年に取りまとめた『DAC 貧困削減ガイドライン』では潜在能力の欠如に着目し、...

## 2. アマルティア・セン

### アマルティア・セン

出生地：インド サンティニケタン  
誕生日：1933年11月3日(85歳)

受賞歴：1998年ノーベル経済学賞  
受賞理由：厚生経済学への貢献

主な功績：  
潜在能力アプローチの提唱  
人間開発指数の基礎

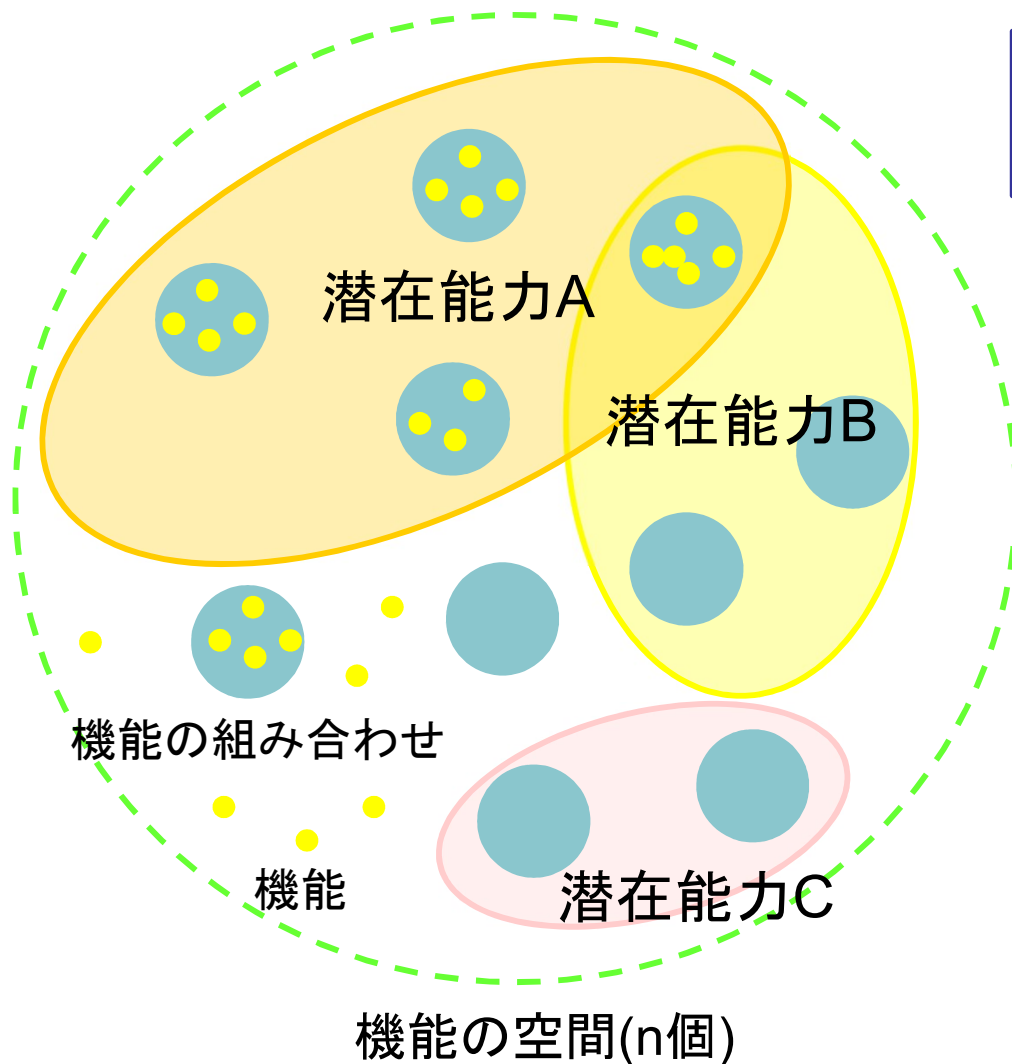


Capability: 潜在能力 (未知も含む)

Capacity: 実行できる能力 (実在)

### 3. 潜在能力アプローチ (Capability Approach)

潜在能力アプローチ  
生活の構成要素から成る空間で議論



機能＝  
言葉を話せる、収入がある、健康である。

潜在能力＝  
機能の空間における点の集合。  
人はそこから一つだけ選ぶ事ができる。  
さまざまな機能の組み合わせ。

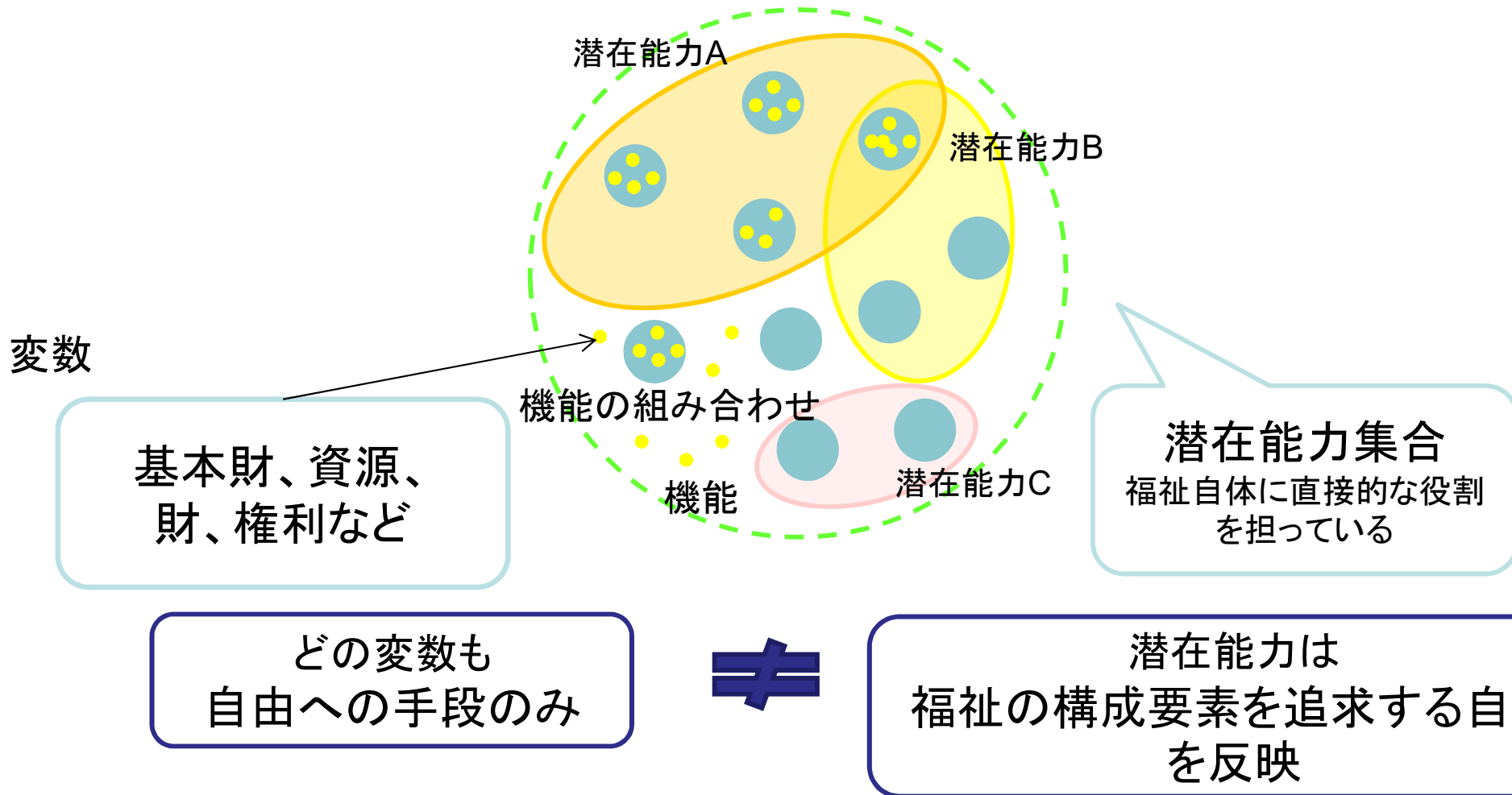
機能の組み合わせはそのような空間内の一点であるのに対し、潜在能力はそのような点の集合である。

# 3. 潜在能力アプローチ (Capability Approach)

従来の個人および社会的  
評価のアプローチ



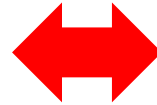
潜在能力アプローチ





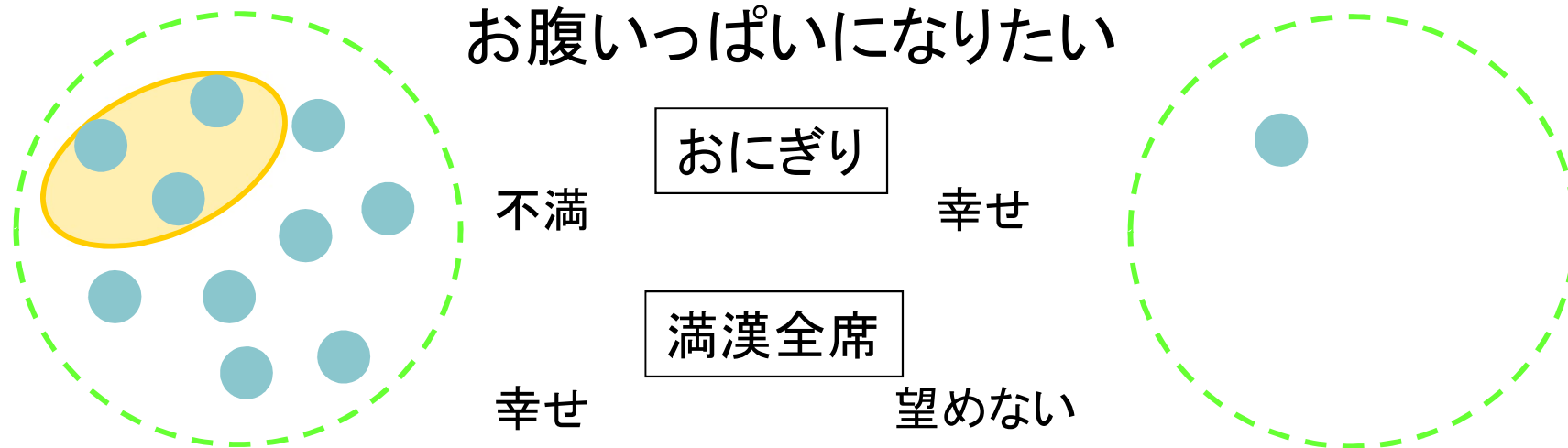
### 3. 潜在能力アプローチ (Capability Approach)

効用(幸せか)  
心理的(個人的)



潜在能力  
社会的条件を考慮

願望の達成が基準として捉えられる場合



効用アプローチ...人は慢性的に剥奪された状態を受け入れてしまう。  
望むことすら許されない。潜在能力を過小評価する。

潜在能力アプローチ...潜在能力に関して社会的に生じた差異に注目することによって、  
困窮の性質を明らかにすることができる。

周囲との差異にも注目できる潜在能力アプローチはより優れている。

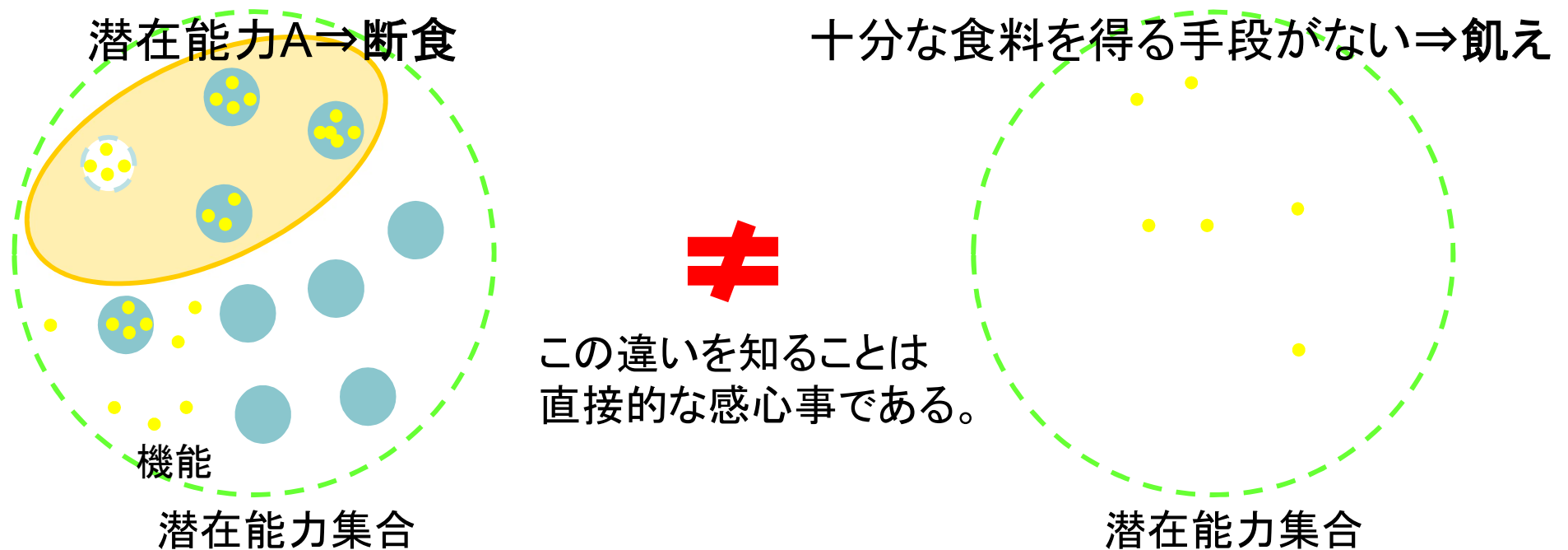
### 3. 潜在能力アプローチ (Capability Approach)

解決のために重要なこと。  
選択の自由は人の生活の質や福祉にとって直接重要なもの。

「xを行なうこと」≠「xを選択し、それを行なうこと」

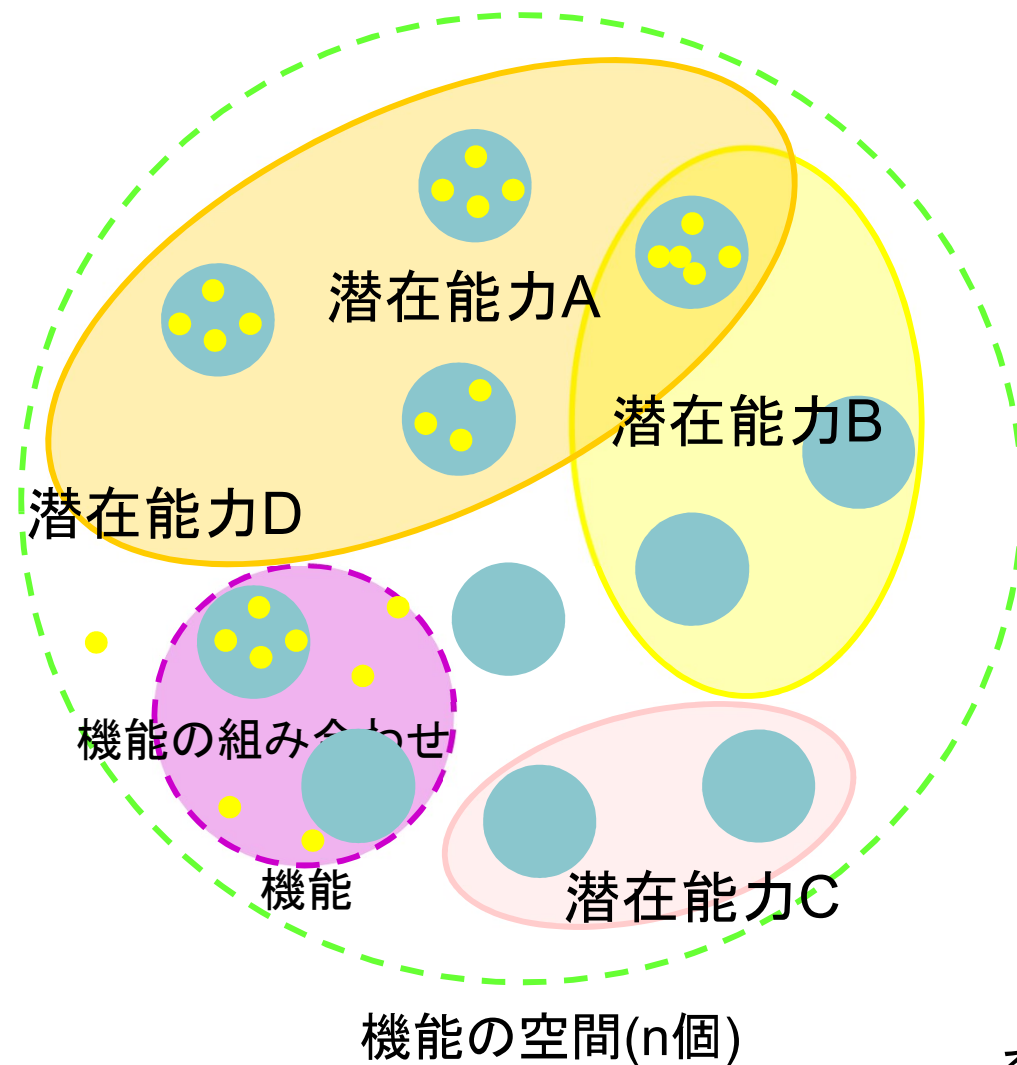


福祉の達成は潜在能力集合に反映された自由に影響される。



人の福祉はその生活様式がどの様にして  
生じる様になったのかに依存する。

# 4. Capacity Building (能力形成)



潜在能力集合の中から、  
実行に移せる能力を増やし、  
**選択肢を拡大**すること

+

複数の潜在能力のうち、  
選択する**機会を与える**こと

||

## キャパシティビルディング

でも機能や潜在能力って一人ひとり違う  
そのうえ、目に見えない...



それを認識し、状況にあった支援をすることが、  
開発援助に求められる！

# 5. 生物多様性条約

気候変動枠組条約や生物多様性条約の会議の場では基本的に全会一致で議論が進められている。どうして社会間の選択であるにも関わらず合意できるのか。

## 気候変動枠組み条約・生物多様性条約

国際会議の場は地球全体の利益のための場である。

## 生物多様性条約 第29条3節

締約国は、この条約及び議定書の改正案につき、コンセンサス方式により合意に達するようあらゆる努力を払う。

※コンセンサス方式: 投票によらず全体的合意で決議案を採択する方法。1960年代後半ごろから国連安保理や総会において多くの決議がこの方式で行なわれている。決議案の趣旨については、大方の賛意が得られているにもかかわらず細部における不一致のため対立が投票結果に反映されるのを避ける目的を持つ。

※全会一致: 国際連盟における原則

# 5. 生物多様性条約

人類社会の永続的な発展を保証するための政策の理念



「持続可能な開発」

【Our Common Future】地球環境問題に関する様々な国際会議で使われるように。

- ・将来世代のニーズを満たす能力を損なうことがないような形で、現在の世代のニーズも満足させるような開発
- ・人々の生活の質的改善を、その生活支持基盤となっている各生態系の収容能力限度内で生活しつつ達成すること

持続可能な経済社会の理念や考え方についての共通的理解

- 1: 環境のもたらす恵みを将来世代にまで引き継いでいこうという、長期的な視点を持っている点である。
- 2: 地球の大自然の営みとの絆を深めるような新しい社会や文化を求めている点である。
- 3: 人間としての基礎的なニーズの充足を重視し、他方では浪費を退けるような新しい発展の道を実践することが、地球の生態系の中で、他の生物やその他の環境と共存共栄する上で不可欠であり、かつ、それゆえにこそ経済社会の持続可能性が高められるとしている点。
- 4: 多様な立場の人々の参加、協力と役割の分担が不可欠であるとしている点。

**Equity【世代内公平性と世代間公平性の観点】**

# 5. 生物多様性条約

持続可能な開発の考え方とその具体的な実現方策  
公平性の概念

Equity

世代内公平性

例: 世界中の貧困状態の人々が人間としての基本的なニーズを満たせるような「開発」が行わなければならない

世代間公平性

例: 「開発」による資源の利用は、環境の受容能力の範囲で行われるべきこととなる

即効性や影響の大きさなどによらない判断が求められる。



小さな国や貧しい国の意見を反映した決議に繋がる。  
そしてその決議は将来世代のためにもなるべきである。

## 6. 私たちにとってのキャパビル

ユース

生きものたちの代表

Ex: 「Speaking for」

将来世代の代表

自分がどのような想いで活動を行うか。どのような立場で国際会議に参画するか。自分自身以外にも目を向けた確固たる意識を保つ必要があるのではないか。

ご静聴ありがとうございました。

